

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱自動車工業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒108-8410 東京都港区芝五丁目3番8号
----	----------------------------	----	---

本票作成部署名	水島製作所 安全・環境推進部 動力管理担当
---------	-----------------------

主たる業種	分類コード	31	業種名	輸送用機械器具製造業
-------	-------	----	-----	------------

事業の概要	自動車製造業 生産台数350,134台(平成25年度)、従業員4,061人(平成26年7月1日時点)
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島製作所	倉敷市水島海岸通一丁目1番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	161,455 t CO ₂	177,197 t CO ₂	153,382 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	水島製作所	177,197 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 (5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.5 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容			原単位当たり排出量			
		温室効果ガス排出量	指標(生産台数)	原単位	基準年度	(25)年度	目標年度
	基準年度	161,455tCO ₂	298,618台	541kgCO ₂ /台	541	506	514
	目標年度	153,382tCO ₂	298,618台	514kgCO ₂ /台	kg CO ₂ /(台) kgCO ₂ /(台) kgCO ₂ /(台)		

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等
	—	—	—	—

【削減状況の自己評価】

平成25年度は、電気の排出係数増加による悪化要因(+36kgCO₂/台)を車体ライン集約(4ライン⇒2ライン)による待機電力削減(▲25kgCO₂/台)および生産台数増加による固定エネルギー(※)の原単位好転(▲33kgCO₂/台)、省エネ実施効果等により挽回し、原単位目標(514kgCO₂/台)に対し実績(506kgCO₂/台)で▲8kgCO₂/台オーバー達成出来た。

※固定エネルギーとは、生産台数増減にリンクしてエネルギーが増減しない量をいう。

(例) 間接部門(廃水处理、品質検査設備)、生産設備の待機電力等

【推進体制】

社長－環境管理責任者(環境担当役員)－生産統括部門長－水島製作所所長－各部長－各課長－推進者
 －各製作所所長
 －各統括部門長

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
【平成25年度に実施した措置】	
車体ライン 塗装ライン 溶組ライン	車体ライン、塗装ライン、溶組ラインを集約し、電気使用量およびガス使用量、灯油使用量を削減した。 (平成26年1月から休止、溶接組立ラインの集約工事は平成26年4月より実施)
塗装ライン	塗装工場で塗りブース循環水ポンプ出口のバルブ開度を50%⇒100%に見直し、循環水ポンプ1台(5台⇒4台)停止した。(平成25年/10月から実施)
検査ライン	検査ラインのシャワーノズル(完成車の車内水漏れ検査)において、安全上の配慮からシャワーノズル出口で完成車にエアブローを行っていたが、エアブローを廃止しブローモーターの電力量を削減した。(平成25/10月から実施)
【今後の取り組み】	
板金工場	板金プレス機のメインモーター更新に伴い、高効率モーターおよびインバーター制御を導入し、エネルギー効率向上を図る。
工場の天井照明	工場の照明(蛍光灯、水銀灯)をLEDタイプに更新し、照明用電力量を削減する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--